

# 「裁縫教育の歴史」を探る!! 【第参弾】

デザインアートコース3年の最後の授業で「裁縫教育発祥の地」を訪問しました



仙台空襲で焼失前の正門  
(青葉通り一番町)

学科・コースが変わり、普通科デザインアートコースとして最後の生徒たちが間もなく「卒業の日」を迎えます。総合的探求の時間で昨年の12月から始まった「裁縫教育の歴史」を探る学びも最後の授業の日を迎えました。

第3弾(最終回)として、卒業式前の2月22日(火)、裁縫教育発祥の地である青



今はマンションとなっている  
発祥の地記念碑前で

葉通り一番町の一角にある記念碑を見学することができました。当日はあいにくの吹雪でしたが、古い航空写真と見比べながら、担当の先生から説明を受け、記念写真を撮影してきました。3人とも「発祥の地」訪問は初めてで、町の真ん中に学校があったことに、驚きとともに「うらやましい」の声も。この日もまた、**朴沢裁縫教育の歴史**を体感した日になりました。



今年のお雛様

### ◆◆ 生徒の感想 ◆◆

今回私は、じかに**記念碑**を見ることで、学ぶことの面白さを理解することができました。最後のデザインアートコース(被服科を継承)の生徒として、**学園発祥の地**を訪れることができるとてもよかったです。  
きしりみ (岸 里美)

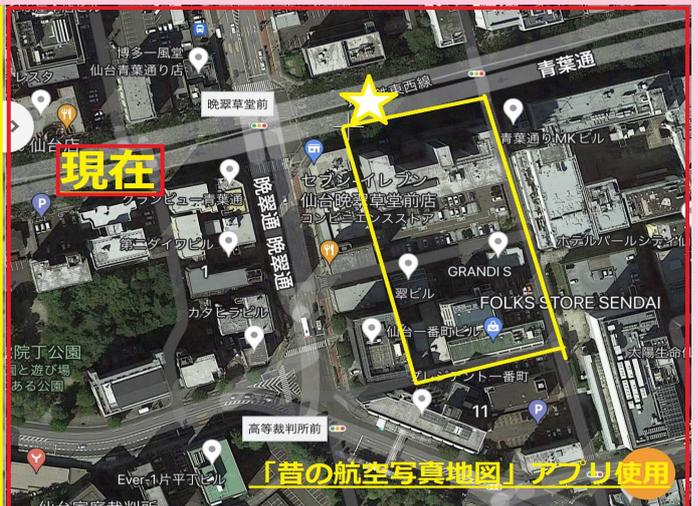
### ◆ 朴沢学園裁縫教育資料のページ

<http://hozawa.ac.jp/approach.html?name=db>

1965年頃の学園(左)と現在の状況



1965年頃



現在

「昔の航空写真地図」アプリ使用